

使用方法



コンセントを挿して電源投入で準備完了。
パネルで設定後、リモコンでスタートするだけの簡単な操作でご利用が可能です。
(準備はリモコンのRESETでも可能です。)



パネル



リモコン



イメージ(撮影用に手摺りを外しています)

1. 準備

床面の原点復帰、ゼロ調整を行います。
(この間は上に乗らないでください)

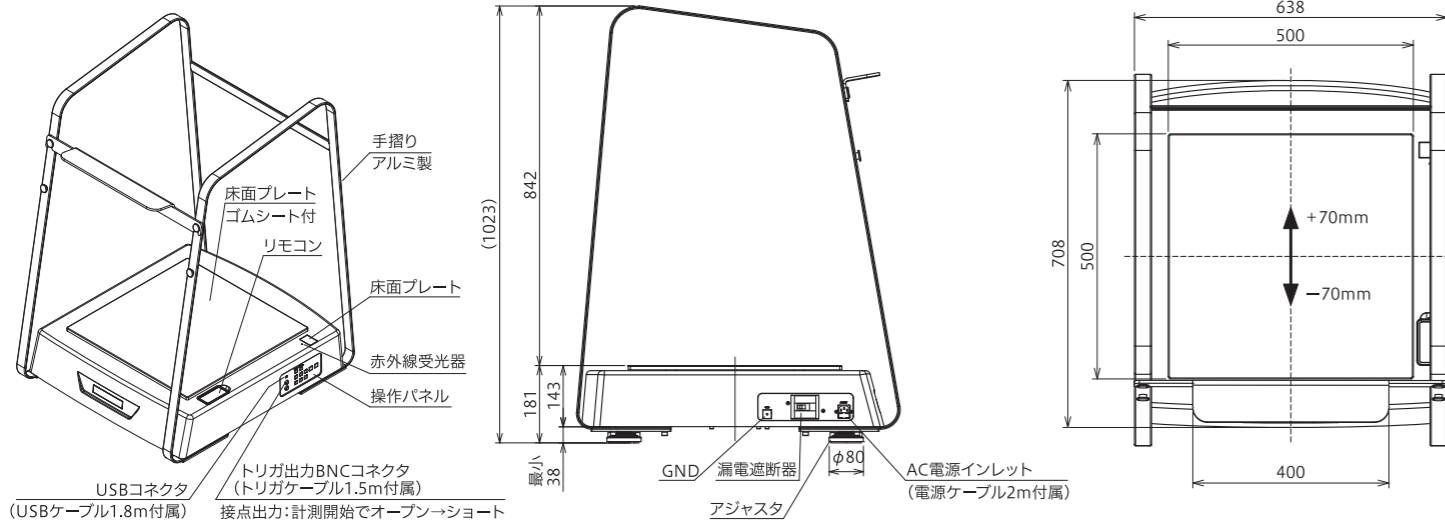
2. 設定

モード、レート(ゲイン)を
パネルから選択をします。

3. スタート

装置の上に乗った状態で、リモコンの
スタートボタンを押して下さい。

外形概要図



製品仕様

製品名	BASYS
型式名	MPF-5050B
位相切換	同位相 (In-Phase) 及び反位相 (Anti-Phase)
床面プレート移動量	最大 ±70mm (CoPの移動量に対し5・10・15%の切換)
床面プレート移動速度(最大)	5cm / sec (CoPの移動に比例)
動作時間(1回)	30、60、90secの切替
床面プレート寸法	500mm×500mm
定格荷重	1kN(100kgf)
電源	AC100V(約0.9kVA)
重量	約40kg
外形寸法	638×708×181(手摺り込みの場合1023)mm(突起部含まず)
付属品	本体、リモコン、電源ケーブル(2m)、トリガ出力用BNCケーブル(1.5m) 重心動揺データ計測用ソフトウェア(Windows7、Windows10対応)・インストールCD、取扱説明書、USBケーブル(1.8m)

弊社では、特殊形状のセンサや3軸力覚センサを応用した計測システム等、お客様のニーズにお応え致します。計測業務でお困りの際は、お気軽にご相談ください。

株式会社 **テック技販**



本社 〒611-0033 京都府宇治市大久保町西ノ端1-22
TEL 0774-48-2334 (代) FAX 0774-48-2242
東日本営業所 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-6-12 日総第12ビル 3階
TEL 045-594-7170 FAX 045-594-7177
E-mail: eigyo@tecgihan.co.jp URL: http://www.tecgihan.co.jp

Tec Gihan

BASYS
for better standing balance

BASYS Guide

重心動揺リアルタイムフィードバックシステム
—新しい姿勢調節リハビリテーションの提案—

【医療機器製造販売業許可番号】

26B3X10012

【医療機器承認番号】26B3X10012000001

診療報酬点数 ・重心動揺検査 (250点)

・パワースペクトル分析 (200点)



身長約160cm

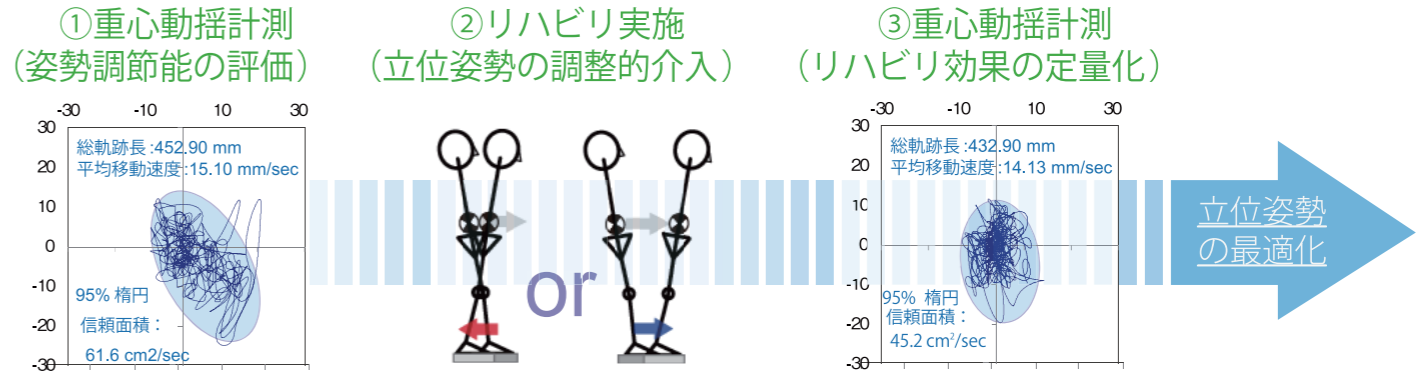
姿勢障害の評価と改善を実現するための新しいリハビリテーション方法を提案します



リアルタイムに検知した立位姿勢時の重心動揺を本人の知覚にのぼらないレベルで「増幅/減衰」させることで、立位姿勢調節を最適化するための姿勢リハビリテーション用プラットフォームです

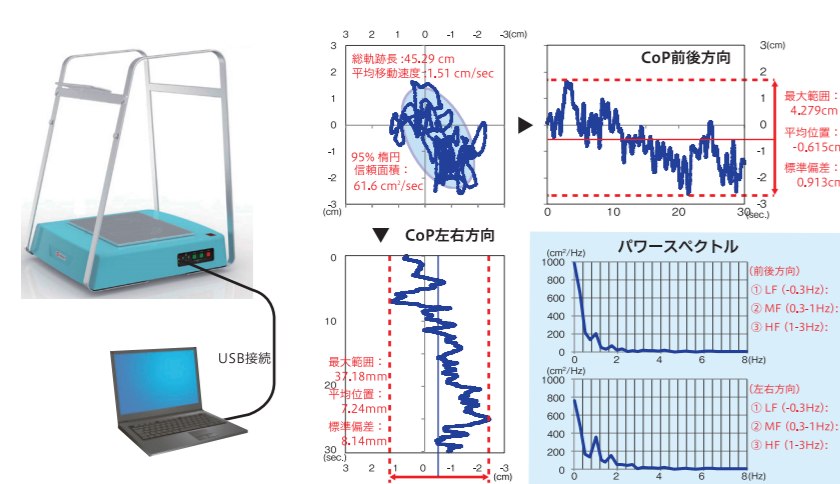
装置による床面の動揺範囲は実施者の知覚にのぼらない程度のごく僅か(重心動揺量の5~15%)なレベルです。

明確に知覚できる揺れ → 意図的な調節
知覚にのぼらない揺れ → 無意識的に調節

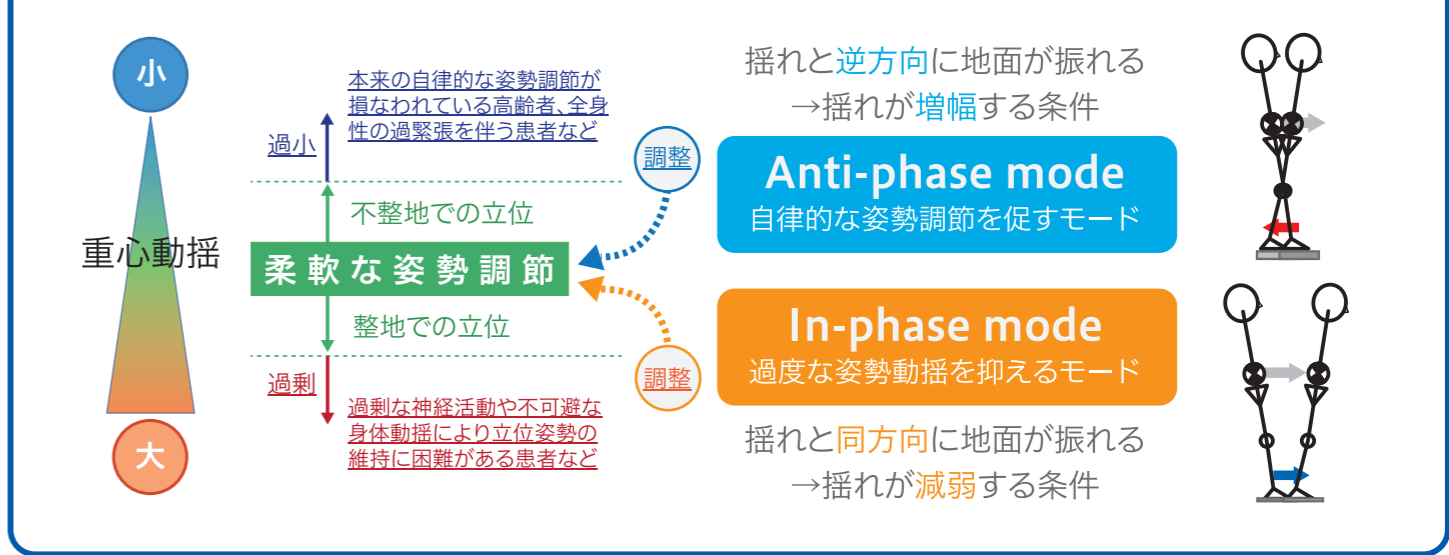


※本装置は国立障害者リハビリテーションセンター研究所 河島則天 神経筋機能障害研究室長との共同開発品です。

立位姿勢を評価するための計測・解析ツール



立位姿勢調節を最適化させる2つのモード

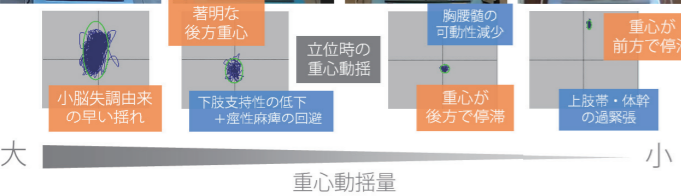


脊髄小脳変性症 脊髄不全損傷 胸椎圧迫骨折 純粋無動症



- 立位姿勢を保っているときの揺れは足圧中心 (center of pressure: CoP) の計測によって捉えることができます
- 姿勢調節が正常に機能している場合にはCoPは適性定の範囲に収まり、絶えず微細な動きを繰り返します
- 加齢や障害により安定した立位姿勢の維持が難しくなった場合には正常範囲を大きく超えたり、逆に極端に狭小化するなどの特徴を示します

リハビリテーション場面でのBASYSの活用
立位姿勢時の重心動揺計測によって姿勢障害の特性を把握し、対象者の特性に応じてin/anti phaseのいずれかを選択、知覚にのぼらないレベルでの揺れを与えることで姿勢調節を変調させることを目指します。



連携病院との多施設共同研究にて、各種病態への介入効果を検証しています。

- 第51回日本理学療法学会(北海道)
- 1) 重心動揺リアルタイムフィードバックを用いた脳卒中片麻痺患者の左右荷重配分の調整
 - 2) 高齢者の立位姿勢に対する重心動揺リアルタイムフィードバックの介入効果
 - 3) 頸髄不全損傷者における立位姿勢への調整的介入
- 第52回日本理学療法学会(千葉)
- 1) 廃用症候群症例に対する重心動揺リアルタイムフィードバックを用いた介入効果の検証
 - 2) 股関節疾患患者における立位姿勢時の健側への荷重偏移を改善させる試み
 - 3) 外傷性くも膜下出血後に立位姿勢の不安定性を呈した症例に対する調節的介入
 - 4) 重心動揺リアルタイムフィードバックを活用したパーキンソン病患者の姿勢制御戦略の特徴分析の試み

